

2025年3月19日  
国立大学法人東京藝術大学**東京藝大×JR 東日本 上野駅ギャラリー「CREATIVE HUB UENO “es”」  
稲垣慎 個展「キッチンカーがきた」開催のお知らせ**

《キッチンカーが来た（部分）》2025、樟 その他

この度、JR 上野駅構内のギャラリー「CREATIVE HUB UENO “es”」では、稲垣慎の個展「キッチンカーがきた」を2025年4月1日（火）～2025年5月6日（火）に開催いたします。

稲垣慎は、鳥や亀、魚、虫などの身近な生き物や自然、建築などの構造物をモチーフに、抽象的かつ有機的な彫刻作品を制作してきました。木の塊から彫り出す伝統的な木彫をベースに、制作過程で偶然現れた形状との対話や素材の触感、空間との関係性を探求しながら、力強さと繊細さを兼ね備えた独自の表現を追求しています。

今回の展示準備のためにギャラリーを訪れた稲垣は、小さな入口から見た間取りから、今年まで6年間勤めた東京藝術大学に毎日来ていたキッチンカーを連想したと言います。本展では、限られた空間で機能と遊びを混在させたものの見せ方の仕組みを持つキッチンカーに着想を得て、箱状の空間の中に箱が現れ、またその中に箱が入れ子状に連なっていくようなイメージを展開していきます。一つ一つの要素がそれぞれに関係性を築きながら、多様な物語と奥行きのある独特な世界を感じることができます。真摯に彫刻に向き合いながら制作を続ける、稲垣の作品をぜひ間近でご覧ください。

**<開催概要>**

- 展示会名：稲垣慎 個展「キッチンカーがきた」
- 会期：2025年4月1日（火）～2025年5月6日（火）
- 休場：月曜定休（祝日の場合は翌日に振替）※GW 期間は祝日も開廊
- 時間：11:00～19:00（最終入場 18:45）  入場：無料
- ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>
- 会場：CREATIVE HUB UENO “es” 東京都台東区上野 7-1-1（上野駅浅草口付近）

## □アーティストステイトメント

---

生き物や建築物、風景など気になったものをモチーフに、それらに対して自分のもつイメージや記憶と、対象自体との狭間にある隔たりを感じながら作品を制作しています。

木も木彫も、古くから日本に存在するもので、作品の他にも家具や建築物など、私たちの身近にある存在です。木と木を組み合わせる寄木造りという技法を使えば、実現出来る表現の幅は元の丸太の形を超えて非常に自由になります。

その反面、木自体の硬さや重さにより、自分の考えが実際に形に反映されるのはすぐというわけにはいきません。制作しているときは、モチーフに対して理解していたように思っても、実際には何もわかっていないようなものだったと気づかされることが多いです。だからこそ対象となる生き物、風景、日々の出来事、一つ一つに対してじっくり向き合えるような制作中の時間の流れに魅力を感じています。

稲垣慎

## □主な展示作品

---

《キッチンカーが来た》 H1600×W1800×D900 素材：樟, その他

《死骸 虫》 H110×W180×D210 素材：樟

《顔 魚》 H460×W350×D210 素材：樟

## □推薦コメント

---

稲垣慎が作る動物や風景には独特の味わいとリアルさがある。木に彫り込まれた細かい凹凸と色彩はどこかユーモラスで暖かい。それは幼少期から共生している昆虫や魚への執拗な観察からやって来る形や景色なのだろう。

虫を顕微鏡で拡大し続けると、レンズの奥にはモノでない、生物の美しいディテールが無限に続いていく。そんなミクロと日常の間を行き交いながら、彼は彫刻を作っている。

生命の果てまでを見ようとする眼欲と習性は、彫刻家にとって羨ましい才能である。

東京藝術大学美術学部彫刻科教授 原 真一

## ■稲垣慎（いながき しん） | 作家プロフィール

---



1991 年生まれ

2017 年 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業

2019 年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程 彫刻専攻修了

2025 年 3 月迄 東京藝術大学美術学部彫刻科 助教

展示歴

2019 年 「アートアワードトーキョー 丸の内 2019」

2019 年 「六つのいきものがたり ANIMALIA」(西荻窪 Gallery FACE TO FACE)

2021 年 「彫刻と家」

2024 年 「MITSUKOSHI×東京藝術大学 夏の芸術祭 2024」

---

【このプレスリリースのお問合せ】 CREATIVE HUB UENO "es" 運営事務局

東京都千代田区東神田 1 丁目 1 3 - 3 商品部ビル 5 階

電話：03-5809-1653 メール：[info@ueno-es.jp](mailto:info@ueno-es.jp) (担当：穴戸・森田)

□これまでの作品
 

---



左上：《部屋の風景 亀》2023、樟、H350×W360×D180、左下：《イナシン木彫カーニバル》2019、樟 着彩、H2900×W4000×D1800  
 右上：《鸚哥2》2017、樟、H2590×W1810×D110、右下：《イナシン木彫プチギャラリー》2021、樟、H1300×W500×D330

 ■CREATIVE HUB UENO “es”とは
 

---

東京藝大と JR 東日本の包括連携協定の第一弾として、上野駅の交番跡地をリノベーションし誕生したギャラリーです。

東京藝大の学生・卒業生の若手アーティストの作品を展示し、時代を映し出す芸術作品に触れ合う機会をつくれます。また、上野駅全体を美術館に見立て、駅構内に点在するアート作品等をご案内し、多様な文化交流の場を創出していきます。

ギャラリー名の“es”（エス）とは、心理学用語で「無意識の領域」を指し、多様な欲望やエネルギーを内在し、小さくとも無限の表現領域を体現できるスペースを目指して命名しました。

